

## 思考ツールの活用（授業づくり）

### 【ねらい】

児童生徒の思考スキルに焦点をあてた活動を構想できる

### 【ポイント】

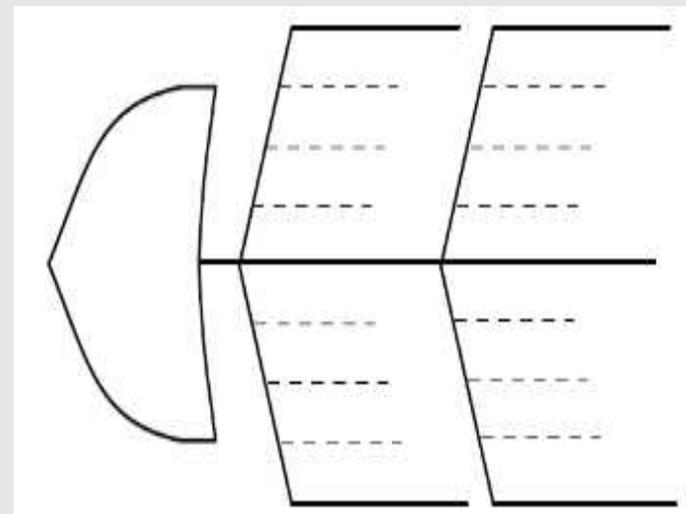
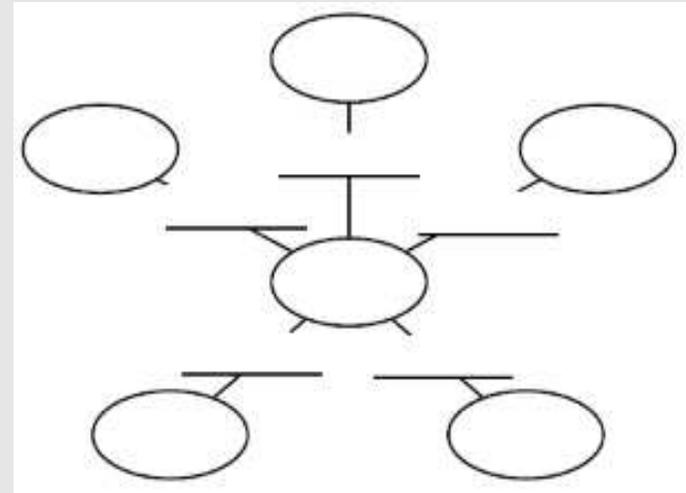
- ① 思考ツールとは
- ② 思考ツールの種類
- ③ 思考ツールの活用

### 【活動】

思考力を育む授業で思考ツールを活用してみよう



思考する際に活用することで、頭の中で考えていることを書き出し整理しやすくして、「比較」したり「分類」したりすることができ、「思考スキル」を身に付けることができるようになります。



総合的な学習（探究）の時間の学習指導要領に  
明確に位置付けられた「思考スキル」＝「考えるための技法」

- 順序付ける      ○ 比較する      ○ 分類する
- 関連付ける
- 多面的に見る・多角的に見る
- 理由付ける      ○ 見通す      ○ 具体化する
- 抽象化する      ○ 構造化する



## 身に付けさせたい情報活用の実践力

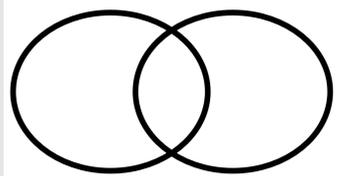
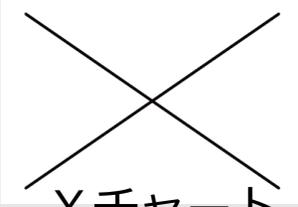
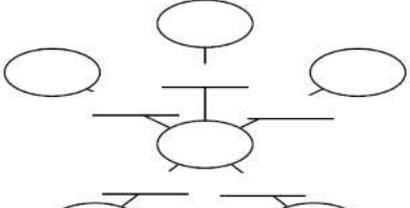
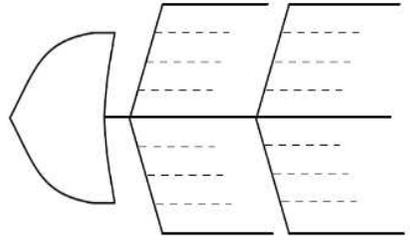
教育の情報化に関する手引（文部科学省）

発達段階	情報活用の実践力
小学校	情報を収集する 情報を比較する
中学校	情報を比較する 情報を選び取る
高等学校	情報を結び付ける 多面的に分析 整理する

**共通点が多い**

## 思考ツールの用途と種類（一部）

関西大学 黒上晴夫教授ほか（2012）

種類	用途
 ベン図	比較する 分類する
 Xチャート	多面的に見る 焦点化する
 コンセプトマップ	関連づける 構造化する
 フィッシュボーン図	分析する 構造化する

## 整理する（ボックスチャート）

110番と119番の仕組みを比較する

### 活用例

 個々の考えを記入 

 まとめて記入

①外枠に個々の考えを書く  
四方から書ける！

②グループ思考  
個々の考えの重なりを見  
つけ、グループの考えを  
一つにまとめる

「思考ツール」がないと…

- ×お互いの考えが見えず、自分の意見が言いにくい…
- ×一部の子供の意見に流され、  
その意見がグループの意見になってしまう…



## 110番と119番の仕組みを比較する



頭の中で考えたことが見える



みんなの考えが1つにまとまる



児童から出たキーワードを使ってまとめる

- ①個人思考：個々の意見を引き出す
  - ・友達と同じ考えでも書くよう助言
  - ・「自分はこう思う」を四方から書き込む
- ②グループ思考：一つの考えにまとめる
  - ・どの意見も必要な情報だと助言
  - ・話し合いを通して気付かせる
- ③情報共有により深まる理解
  - ・各グループの「ボックスチャート」を掲示し、説明を聞く
  - ・自分たちにはない視点に気付くことにより、一人ひとりの考えが広がる



## 比較する (ベン図)

スーパーマーケットとコンビニエンスストアの特徴は？

例

スーパー  
マーケット

コンビニエンス  
ストア

駐車場が広い

駐車場が狭い

売場面積が  
大きい

モノを売る

売場面積が  
小さい

サービスを売る

同じ地域に同  
じ種類の店は  
ない

店員がい  
る

同じ地域に同  
じ種類の店が  
ある

24時間営業  
している



## スーパーマーケットとコンビニエンスストアの特徴は？

- ①ベン図の使い方について説明
- ②スーパーマーケットとコンビニエンスストアの特徴を付箋紙に記入する。  
(個人での作業)
- ③それぞれの特徴、共通する特徴に分類  
(個人での作業  
→グループでの作業)
- ④グループでまとめたベン図を使って発表



## 多面的に見る (Xチャート)

エックス  
X チャートを使って、五感で『羅生門』を読もう

**視覚** (Vision) 目  
夕闇 重たい雲  
雨 ぎりぎりす 大きな円柱  
長い草の生えた石段 ぐっぐつした石段  
からすの糞 尻を据える

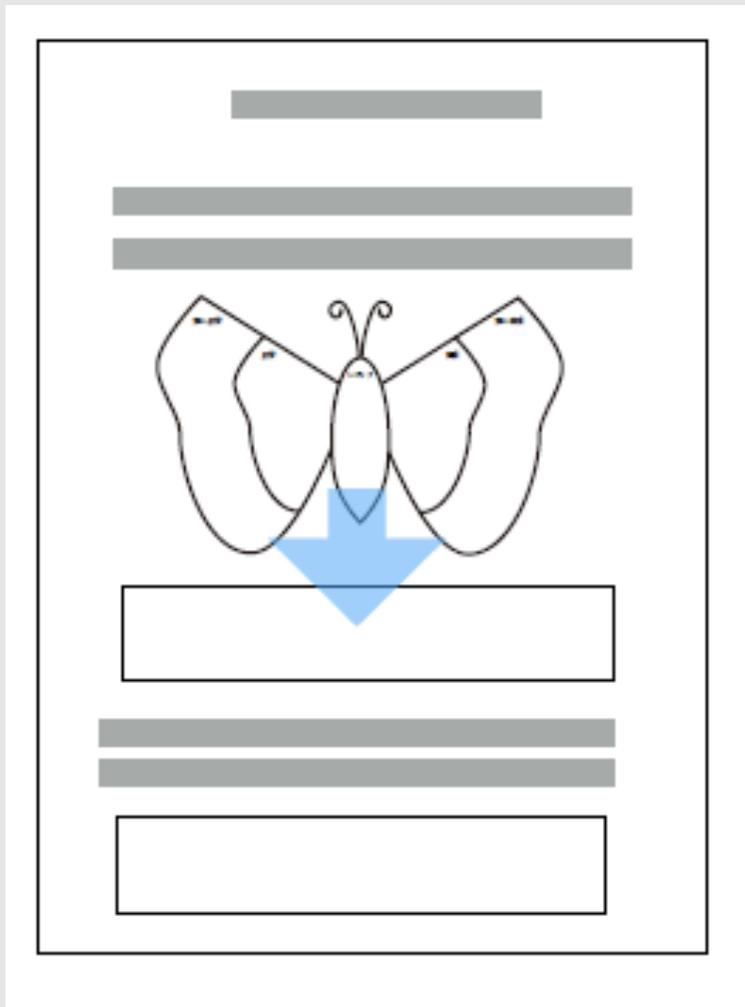
**嗅覚** (Smell) 鼻  
雨のにおい 死体のにおい  
雨の降った地面の 土臭いにおい

**触覚** (Touch) 手  
大きなきびをさわる 水が肌に当たる  
肌寒い

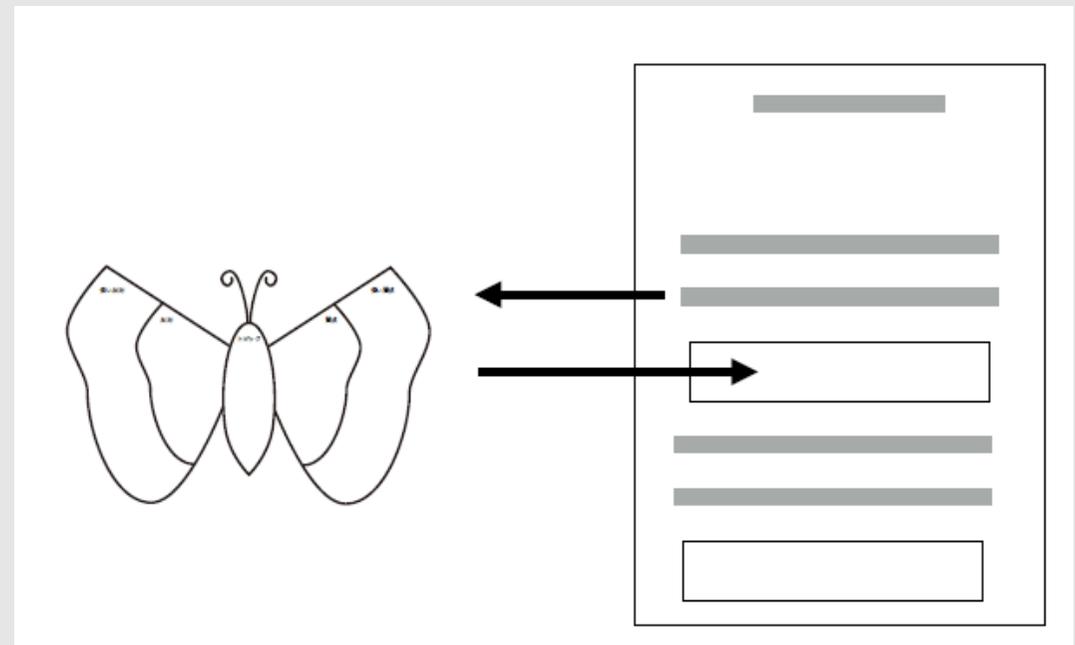
**聴覚** (Hearing) 耳  
雨音 ざあという音  
羅生門の木材がピシピシ鳴る音



ワークシートの中に  
思考ツールを埋め込む  
使用例



思考ツールとワーク  
シートを往還させる  
使用例



## 思考ツールを活用することで

- ・グループでの話し合いにスムーズに移行・活性化  
する
- ・人の頭のリソースを使う  
= 考えのネタが豊富になる
- ・考えの根拠やプロセスが可視化される  
(子供／教師にとって)
- ・他教科、生活場面で自発的に使うようになる
- ・やがて、内面化（要らなくなる）される
- ・記録をとることで違いが見える



- どの授業（思考）の場面で、どの思考ツールが使えるそうか考えてみましょう。授業前に、子どもたちがどんなことを思考するか想定して記入してみることをお勧めします。
- どんな実践ができたか情報を共有しましょう。
- Google Jamboardを活用することで、個人端末上で思考を整理したり、離れたグループとも情報を共有したりすることができます。

